

# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新築(簡易版) 2010年 大阪府版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010oskv1.4

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)小阪駅前PJ新築工事	階数	地上14F
建設地	大阪府東大阪市小阪一丁目165番1	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	117 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年2月 予定	評価の実施日	2014年7月8日
敷地面積	709 m <sup>2</sup>	作成者	IAO竹田設計大阪第一事務所 矢川修宏
建築面積	321 m <sup>2</sup>	確認日	2014年7月10日
延床面積	3,179 m <sup>2</sup>	確認者	IAO竹田設計大阪第一事務所 矢川修宏

外観パース等  
 図を貼り付けるときは  
 シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 温暖化影響チャート	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.1 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100%                  ②建築物の取組み 97%                  ③上記+②以外の 97%                  ④上記+ 97%</p> <p>(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.9</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.8</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.7</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.8</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアガラスなどによる専有部の断熱性能の向上</li> <li>・LED照明・高効率給湯機・節水機器などによる省エネルギー性能の向上</li> </ul>	その他	0
<p>Q1 室内環境</p> <p>南向き開口部による採光の最大化、バルコニーによる夏季の日射取得の低減を図っている。                  開口部にはペアガラスを採用し、壁・床・天井・熱橋部に断熱を十分に施すことで断熱性の向上を図っている。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>防犯面ではオートロックシステム等によるセキュリティ設備を施し、安心して安全な環境を提案する。また、建物内部への出入口には防犯カメラを設置しセキュリティ面の向上を図っている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>外部素材はメンテナンス性に優れた素材を選定し、防汚性に配慮した。                  敷地内に中高木を多数植え、敷地内の環境に配慮した。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>外壁に面する部分とその周辺には断熱材を施す。                  奥行きのあるバルコニーとすることで、住戸における直射日射量を軽減し、省エネルギー化に努めている。                  ペアガラスを用いることで、断熱性能を向上させる。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>外壁には自然素材を原材料とするタイルを利用する。住戸内間仕切壁の構造材には工業加工された木材を利用する。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>外壁を白系とし、駅前立地に相応しいスタイリッシュな外観とした。                  建物南側のアプローチ部分には植栽を施し、街並みに緑の潤いを与えるよう外構計画を行っている。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム

## 大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

<b>【建物概要】</b>	建物名称	(仮称)小阪駅前PJ新築工事		
	建設地	大阪府東大阪市小阪一丁目165番1		
	用途/区分	集合住宅		
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			3
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			2
	エネルギー消費量の報告			対象外

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目		評価内容	スコア	評価
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.1	3
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 住戸・宿泊 3.0	3
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	—	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.0	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目		評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
その他				
先進的技術の導入		技術の名称	考慮事項	
特に配慮した事項				